

義手（殻構造）処方箋（新規・再支給・借受け・修理）（令和7年7月改訂）

市町村名		氏名		生年月日		年	月	日	( 歳)		
切断部位	(右・左・両)										
基本型式	構造種別			殻構造					備考		
	名称			肩	上腕	肘	前腕	手		手部	手指
	採型区分			A-1	A-2	A-3	A-4	A-5		A-6	A-7
	能動式・電動式・その他(装飾用、作業用)										
	加算要素			肩甲胸郭間切断用 吸着式 顎上懸垂式 スプリットソケット チェックソケット							
製作要素	ソケット	皮革									
		熱硬化性樹脂									
		熱可塑性樹脂									
	ソフトインサート	皮革									
		軟性発泡樹脂									
		皮革・軟性発泡樹脂									
	ハーネス	肩義手用 上腕義手用 肘義手用	胸郭バンド式肩ハーネス一式 肩たすき一式 胸郭バンド式上腕ハーネス一式 8字ハーネス一式								
		前腕義手用 手義手用 手部義手用	胸郭バンド式前腕ハーネス一式 8字ハーネス一式 9字ハーネス一式 たわみ式肘継手(一組) Yストラップ 上腕カフ(三頭筋パッド)								
	支持部	能動式 電動式 その他	肩部								
			上腕部	熱硬化性樹脂	熱可塑性樹脂						
			前腕部	熱硬化性樹脂	熱可塑性樹脂						
			手部								
外装	肩部	皮革	プラスチック	塗装							
	上腕部	皮革	プラスチック	塗装							
	前腕部	皮革	プラスチック	塗装							
断端袋	上腕用	前腕用									
完成用部品	肩継手										
	肘継手										
	手継手										
	手先具										
	その他										
特記事項、使用者の希望事項などを記載すること。											
(借受けの希望 有・無)											
年 月 日 所在地 医療機関名 診療科名						製作予定事業者名					
医師名 (記名押印又は署名)						種目名称別コード					

※ 基本型式、製作要素等の必要部品に○をつけること。  
 ※ 完成用部品には、使用部品の品番を記載のこと。

# 義肢意見書

(令和7年7月改訂)

氏名			生年月日	年	月	日	( 歳)
現住所							
障害名						障害等級	級
現症 *おもに障がいの原因となる原疾患の病名と病歴、現在の身体状況等及び能力低下をきたす原因となる機能障がい等についても具体的に記載すること。							
補装具の名称							
<p>現在の補装具の状況について</p> <p>1 所持している 支給体系 総合支援法(身障法)・医療保険・労災補償法                  その他( )</p> <p>支給年月日                  破損状況                  装着状況</p> <p>2 所持していない</p>							
現在の生活地	在宅 施設入所中 入院中 その他( ) ※施設名・病院名(診療科名)を記入( )						
装着についての意見(注:借受けが必要な場合は借受け期間及び効果が明確となるよう記載すること。) (使用効果見込等)							
年 月 日 所在地 医療機関名 診療科名 医師名 (記名押印又は署名)							

## 義肢の完成用部品の比較検討状況について

(※新規申請及び再支給、修理でタイプ変更を希望される場合に記載してください。)

氏名： \_\_\_\_\_ 生年月日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( \_\_\_\_\_ 歳)

【 ライナー、 膝継手、 足部・足継手、 その他 】 ←該当するものに○

- ※注 1 パーツごとに、1枚ずつ記入すること。  
 2 試用した完成用部品の比較検討状況を記載すること。  
 (カタログ記載の一般的な内容ではなく、「対象者にとって」という個別の視点で記載すること。)  
 3 試用するも、適合しなかった完成用部品についても記載すること。  
 4 訓練用仮義足と同じ部品を使用する場合でもその部品を選定するに至った理由を記載すること。

	部品名 (型式)	特徴	試用期間 ・時間	希望理由・結果 (使用感や特に不都合があるところを具体的に記載すること。)
記載例	足部 1C30 (SACH)		RO.O.O ~RO.O.O (1日2時間)	・足部が柔らかすぎて、踵を着いた際(踵接地時)にくじいた感じ(内反)になり、不安定で心配とのこと。
申請の 完成用 部品				
他に比 較検討 した完 成用部 品				
※比較検討した完成用部品(ライナー、膝継手、足部・足継手、その他)がない場合は、その理由を記載してください。				

記入日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

記入者： \_\_\_\_\_ (職種： \_\_\_\_\_ )

# 義肢判定依頼調査書

調査日 年 月 日 (市町村調査者氏名: )

ふりがな			
氏名	生年月日	年 月 日	( 歳 )
1 切断等について			
①切断等の理由 (疾病の場合は疾患名・事故・その他) ( )			
②切断等年月日・労災の適応の有無			
年 月 日 (頃) 労災 (有・無)			
2 訓練用仮義肢 (医療用) について			
製作日 年 月 日 頃 (病院名: )			
義肢名 (右・左) ( 殻構造・骨格構造 )			
3 入院・手術・治療等の経過について (合併症 (糖尿病等) がある場合も記載のこと)			
4 現在の状況、活動状況 (自立歩行・手摺り・杖・車椅子の併用等) について			
① 断端の状況 (腫脹・痛み・傷・出血・日内等変動の有無):			
② 屋内: (義肢の装着状況や使用状況及び歩行状況 (例: 自立歩行。杖歩行等) を具体的に記載)			
③ 屋外 (階段昇降等も含めて): (義肢の装着状況や使用状況及び歩行状況 (例: 義足は装着せず両松葉杖歩行。常時義足装着して伝い歩き等。)) を具体的に記載)			
④ 生活状況 (就労・社会参加・通院・買い物等)			
就労等: 具体的な仕事内容について (例: 建築業で、現場で不整地を義足で歩く。接客業で義手を装着し接客している。デイサービスに週2日通所。内科クリニックに週3日通院。)			
5 今回の判定依頼について			
① 年 月支給又は修理分の<修理・再支給> <新規支給>			
相談したい義肢の状況 (サイズ不適合、破損、経年劣化等の状況 (新規支給の場合は訓練用仮義肢について) を記載してください。借受けの希望があれば、内容を詳細に聞き取ってください。)			
② 「補装具の支給対象となる補装具の個数は、原則1種目につき1個」の説明及び了承 ( 済 ・ 未 )			
・ 来所希望日 ( ) ・ 補装具事業者名 ( )			

\* 今回の<新規支給・再支給・借受け・修理>に関する義肢について、可能な限り具体的に記入してください。

\* 再支給や修理の際に完成用部品の品番の変更がある場合、「義肢の完成用部品の比較検討状況について」にて、選択理由及び選定過程を確認します。なお、新規申請の場合においても、医療用で作製した義肢の完成用部品の選択理由について、同様の調査をお願いします。